

文化の風が吹くまち ちくしの

文化薫道

問い合わせ先／文化財課

一其の四十一

あ・し・き

「あしき」という地名はいつ頃からあるのでしょうか。

江戸時代の終わり頃（約二百年前）には、現在の行政区でいう阿志岐と吉木を合わせた地域は「阿志岐村」と記録されています。

鎌倉時代（約七百年前）には「あしき」という地名に対して「悪木」や「葦木」の文字を当てた記録がありますが、平安時代中頃（約千年前）の安楽寺（現在の太宰府天満宮）関係の記録には「阿志岐」の地名が出てきません。地名は音で表現されませんが、記録する時に文字を当てるため、同じ地名でもいろいろな表記が残

ることがよくあります。それでも「あしき」を「阿志岐」と表記することが約千年前までさかのぼることがわかりました。

では「あしき」とは何に由来したのでしょうか。奈良時代（約千三百年前）に編さんされた『万葉集』には、大宰府の官人たちが歌を詠んだ場所を「蘆城驛家（あしきのうまや）」（古代の役所の一つで、阿志岐にあったとされています）と記しています。

「蘆（アシ）」と「城（キ）」とは何のことでしょうか。宝満川の周囲に広がる平地には、かつて一面にアシが茂っていたと考えられます。そして平地を見下ろす宮地岳には古代山城の国指定史跡阿志岐

城跡があります。「城（キ）」はこれを指していたのではないのでしょうか。この想像が正しければ「あしき」という地名はアシ原の背後にそびえ立つ山城に由来し、現代まで使われ続けていることになりました。文化財と私たちの住む地域や生活とは、大変深い関わりがあることがよく分かります。



アシ原から見た宮地岳

- 5月連休のごみ収集休み 5月3日(金)夜の持ち出し～5月6日(月)夜の持ち出し
- クリーンヒル宝満の休み 5月3日(金)～5月5日(日)※日曜日は年間を通して休み
- 問い合わせ先 環境課 ※ごみ収集などの休みの情報は2ページにも掲載しています。



筑紫野市ホームページ
<http://www.city.chikushino.fukuoka.jp/>



筑紫野市フェイスブック
<https://www.facebook.com/ChikushinoCity/>



筑紫野市ツイッター
<https://twitter.com/ChikushinoCity/>

